



追補版

健康増進計画

21世紀における県民健康づくり運動

健康あおもり21

～ 医療制度改革に伴う改定 ～

平成20年3月
青 森 県

目 次

1	改定の趣旨	1
2	計画の期間	1
3	医療制度改革における生活習慣病対策の目標	2
4	各領域の指標及び行動目標	3
	(1) 新規指標の追加（28項目）	
	(2) 既存指標の見直し（5項目）	
	(3) 行動目標の追加	
5	重点課題の指標及び行動目標	10
	(1) 新規指標の追加（4項目）	
	(2) 行動目標の追加	
	領域別指標一覧	11
	重点指標一覧	17
	参考資料	19

1 改定の趣旨

青森県では、すべての県民が健康で明るく元気に生活できる社会の実現を目指して、青森県健康増進計画「健康あおもり21」を平成13年1月に策定し、平成22年度までの10年間に達成すべき具体的な数値目標を設定し、これまで県民健康づくり運動として展開してきました。そして、昨年度、生活習慣改善のための目標値や行動目標等の評価を行い、社会情勢や県民の健康の現状から、計画の見直しをいたしました。

一方、医療制度改革により、医療保険者による糖尿病等の予防に着目した健診・保健指導の実施や、国及び都道府県の医療費適正化計画の策定等が平成20年度からの施行とされました。都道府県健康増進計画においては、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者・予備群の減少率や、健診・保健指導の実施率並びに食生活、運動及び喫煙等に関する目標の設定が必要とされています。そこで、「健康あおもり21」の内容充実に向けた改定を実施いたしました。

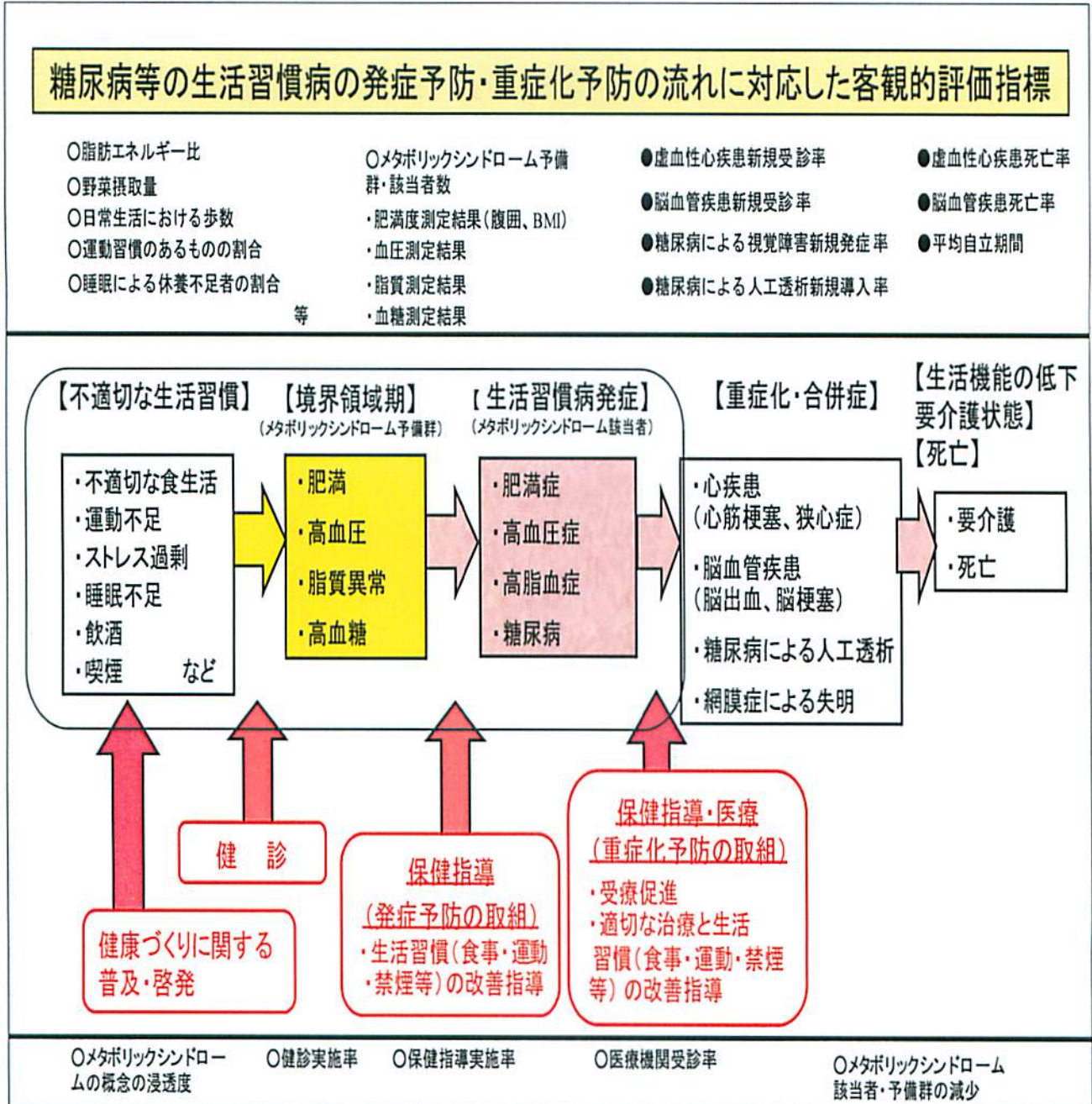
2 計画の期間

平成20年度から5年計画として策定される医療計画、医療費適正化計画及びがん対策推進計画と整合性を図るため、計画の期間を延長し、平成13年度から平成24年度までの12年間とします。

平成22年度から、最終評価を行い、その評価を平成25年度以降の運動の推進に反映させることとします。なお、平成22年度以降の最終評価期間中においても現在設定されている目標により、運動を推進することとします。

3 医療制度改革における生活習慣病対策の目標

糖尿病等の生活習慣病の発症予防・重症化予防に対応して、新たに都道府県健康増進計画に追加された指標は次のとおりです。



資料：厚生労働省資料

4 各領域の指標及び行動目標

新たに都道府県健康増進計画に追加された指標のうち、「健康あおもり21」の各領域の指標及び行動目標を踏まえて、新たに追加・見直した指標及び行動目標は次のとおりです。

(1) 新規指標の追加（28項目）

「第4章 中間評価」の「Ⅲ 新しい健康づくりの目標」の各領域に新たに追加されます。

<指標>

領域	指標		基準値 (現状値)	出典	目標値
	項目	区分			
栄養・食生活	適切な生活習慣を有する率	朝食欠食率	10.1%	A	0% 5%
こころの健康づくり		睡眠による休養が不足している者の割合	成人	17.8%	B
糖尿病、循環器病	普及啓発による知識浸透率	メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の概念を知っている人の割合	男性 42.3% 女性 45.1%	B	80%
栄養・食生活、糖尿病、循環器病	内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数	肥満者の推定数（小児）	男性 9,700人 (14.9%) 女性 8,200人 (13.1%)	C	7%
糖尿病、循環器病		メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）予備群の推定数	男性* 80,000人** 女性* 38,000人**	B	10%減少 (平成20年度比)
		糖尿病予備群の推定数	男性* 44,000人 女性* 49,000人	B	10%減少
循環器病		高血圧症予備群の推定数	男性* 58,000人 女性* 49,000人	B	10%減少
糖尿病、循環器病		メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）該当者の推定数	男性* 45,000人** 女性* 26,000人**	B	10%減少 (平成20年度比)

領域	指 標			基準値 (現状値)	出典	目標値
	項目	区分				
糖尿病、 循環器病	内臓脂肪型 肥満に着目 した生活習 慣病の有病 者・予備群 の数	糖尿病有病者の推定数	男性* 女性*	40,000 人 36,000 人	B	10%減少
循環器病		高血圧症有病者の推定数	男性* 女性*	132,000 人 130,000 人	B	10%減少
糖尿病、 循環器病		高脂血症有病者の推定数	男性* 女性*	41,000 人 33,000 人	B	10%減少
		メタボリックシンドローム（内臓脂肪 症候群）新規該当者の推定 数	男性* 女性*	平成 20 年度及び 平成 21 年度の健 診データがそろ った時点で把握	平成 20 年度 及び平成 21 年度の健診デ ータがそろっ た時点で設定	
	糖尿病発症者の推定数	男性* 女性*				
	高血圧症発症者の推定数	男性* 女性*				
高脂血症発症者の推定数	男性* 女性*					
糖尿病、 循環器病	健診・保健 指導の実績	特定健診実施率	男性* 女性*	データがそろった 時点で把握	68%	
		特定保健指導実施率	男性* 女性*		45%	
		医療機関受診率	男性* 女性*	55.1% 78.7%	B	90%
循環器病	疾患受療率	脳血管疾患受療率 (人口 10 万対)	入院 外来	179 189	D	10%減少
		虚血性心疾患受療率 (人口 10 万対)	入院 外来	14 76	D	10%減少
糖尿病	合併症率	糖尿病による失明発症率 (人口 10 万対)		2.75	E	国の目標値設 定の動向を踏 まえて検討
		糖尿病による人工透析新規 導入率 (人口 10 万対)		13.1***	F	10%減少
循環器病	死亡率	脳卒中による死亡率 (人口 10 万対)	男性 女性	84.0 45.3	G	35%減少
		虚血性心疾患による死亡率 (人口 10 万対)	男性 女性	108.0 50.2	G	15%減少

領域	指 標		基準値 (現状値)	出典	目標値	
	項 目	区 分				
各領域共通	健康寿命	平均自立期間		H	研究班による 定義・算出方法の検討の動 向を踏まえて、目標値の 設定を検討	
		65歳、75歳平均自立 期間		H		
		(平均寿命)	男性 女性	76.27年 84.80年	H	—
		(65歳、75歳平均余 命)	男性(65歳) 女性(65歳) 男性(75歳) 女性(75歳)	17.04年 22.77年 10.39年 14.45年	H	—

〈データの出典〉

A 平成17年度青森県県民健康・栄養調査

B 平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査

(本調査による基準値(現状値)は、調査結果から算出した該当者の割合と平成17年国勢調査(総務省)人口から推計)

C 平成18年度体格・体力・ライフスタイル調査(青森県教育庁スポーツ健康課)

(本調査による基準値(現状値)は、肥満傾向児の出現率と生徒数(青森県教育委員会「学校一覧」(平成18年5月1日現在))から推計)

D 平成17年度患者調査(厚生労働省)

E 平成18年度社会福祉行政業務報告

F 日本透析医学会資料

G 平成17年人口動態統計(厚生労働省)

H 平成17年都道府県別生命表(厚生労働省)

* 対象年齢は40～74歳です。

** 平成20年度を基準としますので、現状値は参考値として示しています。

*** 糖尿病性腎症による新規導入透析患者数(社)日本透析医学会 統計調査委員会「わが国の慢性透析療法の現況(2006年12月31日現在)」÷青森県人口(平成18年10月総務省推計人口)×100,000

(2) 既存指標の見直し（5項目）

「第4章 中間評価」の「Ⅲ 新しい健康づくりの目標」の各領域における次の項目が見直しされます。（下線の部分が改正部分です。）

また、「第5章 今後の取組」の「Ⅱ 重点課題への取組」の「2 重点課題の各領域の取組」における重点指標についても同様に見直しされます。

- 肥満予防対策：「糖尿病・循環器病」領域から「成人の肥満者の割合の減少」を選択
- 喫煙防止対策：「がん」領域から「がん検診の受診者の増加（カバー率）」を選択

<指 標>

領域	指 標		基準値	現状値	目標値	見直しの概要
	項目	区分				
栄養・食生活、糖尿病、循環器病	成人の肥満者の割合の減少 (BMI及び腹囲を基準)	男性 ①BMI25以上で腹囲85cm以上 ②BMIのみ25以上 ③腹囲のみ85cm以上	51.0%* ①30.7%* ②1.8%* ③18.5%*	51.0%* ①30.7%* ②1.8%* ③18.5%*	40%以下	特定健診等の導入により、指標の定義をBMI及び腹囲とし、①、②及び③に区分するとともに、目標値を設定した。 なお、従来の定義による基準値及び現状値は、継続して青森県県民健康・栄養調査により比較してゆくこととした。
		女性 ①BMI25以上で腹囲90cm以上 ②BMIのみ25以上 ③腹囲のみ90cm以上	29.0%* ①14.5%* ②10.0%* ③4.5%*	29.0%* ①14.5%* ②10.0%* ③4.5%*		
	成人の肥満者の割合の減少 (従来のBMI 25以上を基準)	男性	37.3%	33.7%	25%以下	
		女性	38.2%	27.1%	20%以下	
糖尿病	糖尿病合併症の減少	糖尿病腎症	19.2%	20.4%	15%以下	「平成18年度糖尿病調査報告書」に基づき、現状値を追加した。
		糖尿病網膜症	24.4%	19.6%	20%以下	
		糖尿病神経障害	21.2%	17.8%	15%以下	

領域	指標		基準値	現状値	目標値	見直しの概要	
	項目	区分					
たばこ	成人の喫煙率の減少	男性	39.4%	39.4%	25%以下	基準値がなかったことから、現状値を基準値とした。	
		女性	8.2%	8.2%	5%以下		
循環器病	高脂血症の減少 LDL-C コレステロール 140mg/dl以上の者の割合の減少	男性	30.0%	23.8%	15%以下	特定健診の導入に伴う健診項目の変更により、「血清総コレステロール 220mg/dl 以上」から変更した。	
		女性	38.5%	37.0%	20%以下		
がん	がん検診の受診率** (カバー率)	胃がん	男性	30.3% (10.3%)	30.3% (10.1%)	50% (30%以上)	平成19年6月に策定された国の「がん対策推進基本計画」を踏まえて、指標の項目を「がん検診の受診者の増加(カバー率)」から変更し、新たに基準値(現状値)と目標値を設定した。 なお、従来の指標であるカバー率についても併用して現状値を基準値及び目標値と比較してゆくこととした。
			女性	32.4% (15.8%)	32.4% (14.2%)	50% (30%以上)	
		大腸がん	男性	25.0% (10.7%)	25.0% (11.0%)	50% (30%以上)	
			女性	27.4% (16.4%)	27.4% (16.0%)	50% (30%以上)	
		肺がん	男性	23.7% (11.8%)	23.7% (11.2%)	50% (30%以上)	
			女性	26.1% (18.6%)	26.1% (16.2%)	50% (30%以上)	
		子宮がん		38.3% (12.0%)	38.3% (9.1%)	50% (30%以上)	
		乳がん		26.3% (12.7%)	26.3% (7.9%)	50% (30%以上)	

* 現状値の出典は平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査です。

** 受診率：国民生活基礎調査における各がん検診受診状況から算出しています。

(3) 行動目標の追加

「第4章 中間評価」の「Ⅲ 新しい健康づくりの目標」における「7 糖尿病」と「8 循環器病」の領域に医療保険者の行動目標を追加します。(下線の部分が追加となった部分です。)

7 糖尿病

<行動目標>

一肥満は糖尿病の赤信号一

- (1) 糖尿病の発症を予防します。
 - ア 学校では、生活習慣病予防について授業に取り入れる。
 - イ 県、県教育委員会、市町村及び学校は、食事に関する教育(食育)を普及させる。
そのために、小中学校に勤務する学校栄養教諭の配置を促進するとともに、養護教諭、市町村の管理栄養士の活用を図る。
 - ウ 市町村、職場及び医療機関は、糖尿病に関する知識を促進する健康教育を実施し、糖尿病予防を実践する人を増やす。
- (2) 糖尿病にかかわる健診を徹底します。
 - ア 市町村及び職場は、健診受診率の向上を図る。
 - イ 市町村及び職場は、異常所見者に対する事後指導を徹底する。
 - ウ 医療機関は患者発見に努め、家庭、職場及び地域は、理解と協力により治療中断を防止する。
 - エ 医療保険者は、特定健診*の対象者に対して、糖尿病等の予防に着目した特定健診・特定保健指導**の計画的な実施に努める。
 - オ 医療保険者は、特定健診の対象者に対して、市町村・職場が行う普及啓発や健康づくりとの一体的な取組を展開するため、市町村・職場との連携を強化する。
- (3) 糖尿病合併症を減少させ、死亡率を低下させます。
 - ア 医療機関は、糖尿病に関する医療体制の連携を強化する。(医療機関相互の連携)
 - イ 医療機関は、患者に高血圧、高脂血症の適切な治療を継続して行う。
 - ウ 市町村、職場及び医療機関は、肥満者、喫煙者に対する指導を強化する。

*特定健診：平成20年4月から、医療保険者(国保・被用者保険)が40～74歳の加入者(被保険者・被扶養者)を対象として、毎年度、計画的に実施する、内臓脂肪型肥満に着目した検査項目での健康診査をいいます。

**特定保健指導：平成20年4月から、医療保険者(国保・被用者保険)が特定健康診査の結果により健康の保持に努める必要がある者に対し、毎年度、計画的に実施する保健指導をいいます。

8 循環器病

<行動目標>

—自分の血圧を知ろう—

- (1) 県民一人ひとりが自分の血圧に関心を持ち、自己管理していけるようにします。
 - ア 学校では、血圧と健康について教える。
 - イ 市町村及び職場は、医師・保健師・栄養士等による住民・職員への健康教育を定期的に行う。
 - ウ 市町村、職場及び医療機関は、家庭血圧計の正しい使用法を普及啓発する。また、職場、医療機関及び公共施設等への自動血圧計の設置を働きかける。
 - エ 市町村及び職場では、関係者と協力し、減塩対策をさらに推進する。
 - オ 保健所は、利用者が摂取栄養量を把握できるよう、栄養成分表示を実施している外食店の増加を図る。
 - カ 県及び市町村は、多様な手段を活用し、知識の普及啓発を行う。
- (2) 市町村及び職場は、健診受診率の向上を図ります。
- (3) 市町村及び職場は、健診後の事後指導及び必要な医療を継続して受けるよう指導の徹底を図ります。
- (4) 医療保険者は、特定健診の対象者に対して、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）に着目した特定健診・特定保健指導の計画的な実施に努めます。
- (5) 医療保険者は、特定健診の対象者に対して、市町村・職場が行う普及啓発や健康づくりとの一体的な取組を展開するため、市町村・職場との連携を強化します。

5 重点課題の指標及び行動目標

(1) 新規指標の追加（4項目）

新たに追加した指標のうち、重点課題の取組に必要な指標を選択し、「肥満予防対策」の重点指標に追加します。

<重点指標>

領域	指 標		区分	基準値 (現状値)	目標値
	項目				
糖尿病、 循環器 病	内臓脂肪型肥 満に着目した 生活習慣病の 有病者・予備 群の数	メタリックシンドローム（内臓脂肪症候群）予備群の推定数	男性* 女性*	80,000人** 38,000人**	10%減少 (平成20年度比)
		メタリックシンドローム（内臓脂肪症候群）該当者の推定数	男性* 女性*	45,000人** 26,000人**	10%減少 (平成20年度比)
	健診・保健指 導の実績	特定健診実施率	男性* 女性*	データがそろつ た時点で把握	68%
		特定保健指導実施率	男性* 女性*		45%

〈データの出典〉

平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査

* 対象年齢は40～74歳です。

** 平成20年度を基準としますので、現状値は参考値として示しています。

(2) 行動目標の追加

重点課題への取組のうち、「肥満予防対策」の「糖尿病」及び「循環器病」の行動目標に医療保険者の行動目標を追加します。（下線の部分が追加となった部分です。）

糖 尿 病

- ① 糖尿病にかかわる健診を徹底します。
 - ア 市町村及び職場は、健診受診率の向上を図る。
 - イ 医療保険者は、特定健診の対象者に対して、特定健診・特定保健指導の実施に努める。

循 環 器 病

- ① 市町村及び職場は、健診受診率の向上を図ります。
- ② 医療保険者は、特定健診の対象者に対して、特定健診・特定保健指導の実施に努めます。

領域別指標一覧

1 栄養・食生活

指 標		区 分	基準値	現状値	目標値
項 目					
学齢期おやつ1日のエネルギー摂取の減少	学齢期 (7~14歳)		293 キロカロリー/日	324 キロカロリー/日	総摂取エネルギーの10%以内 200キロカロリー/日程度
成人の肥満者の割合の減少 (BMI及び腹囲を基準)	男性		51.0%	51.0%	40%以下
	①BMI25以上で腹囲85cm以上 ②BMIのみ25以上 ③腹囲のみ85cm以上		(1)30.7% (2)1.8% (3)18.5%	(1)30.7% (2)1.8% (3)18.5%	
成人の肥満者の割合の減少 (従来BMI25以上を基準)	女性		29.0%	29.0%	25%以下
	①BMI25以上で腹囲90cm以上 ②BMIのみ25以上 ③腹囲のみ90cm以上		(1)14.5% (2)10.0% (3)4.5%	(1)14.5% (2)10.0% (3)4.5%	
成人の1日の食塩摂取量の減少	成人		12.2g/日	11.6g/日	10g/日未満
1日のカルシウム摂取量の増加			552mg/日	507mg/日	600mg/日以上
1日の野菜の摂取量の増加	学齢期(7~14歳)		154.3g/日	215g/日	250g/日以上
	青少年期以降		289.3g/日	277g/日	350g/日以上
成人の脂肪エネルギー比率の減少	40歳未満		26.9%	25.8%	25%以下
	40歳以上		22.3%	22.4%	25%以下
市町村栄養士の配置			19市町村 23人	24市町村 32人(51.1%)	市町村栄養士配置率 100%
適切な生活習慣を有する率	朝食欠食率	学齢期(7~14歳)			0%
		青少年期以降	10.1%	10.1%	5%
内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数	肥満者の推定数(小児)	男性	9,700人 (14.9%)	9,700人 (14.9%)	7%
		女性	8,200人 (13.1%)	8,200人 (13.1%)	

2 身体活動・運動

指 標		区 分	基準値	現状値	目標値
項 目					
健康の維持・増進のために運動(身体活動)をする人の割合の増加	男性		41.5%	36.7%	70%以上
	女性		40.4%	21.7%	70%以上
日常生活における1日の歩数の増加	男性		7,188歩/日	7,347歩/日	8,000歩/日以上
	女性		6,655歩/日	6,774歩/日	8,000歩/日以上
身体活動や運動による1日の消費エネルギーの増加			120~170 キロカロリー/日	120~170 キロカロリー/日 (2.5~3.7Ex) (3.6~5.6Ex程度)	200~250 キロカロリー/日程度 (3.6~5.6Ex程度)
学齢期1週間の運動時間数の割合の増加	小中学生男子	14時間以上	40.3%	35.7%	50%以上
	小中学生女子	10時間以上	40.3%	47.1%	50%以上

3 こころの健康づくり(自殺予防対策)

指 標		区 分	基準値	現状値	目標値
項 目					
自殺者数の減少			479人	527人	294人以下
自殺を考える傾向にある65歳以上の者の割合の減少	65歳以上		12.6%	7.5%	10%以下
外出について積極的な態度を持つ65歳以上の者の割合の増加	65歳以上の男性		-	46.5%	70%以上
	65歳以上の女性		-	41.2%	70%以上
抑うつ状態や引きこもり状態にある者への訪問を実施する市町村の割合の増加	市町村		-	77.5%	100%
自殺に関する啓発及び相談等を実施する市町村の割合の増加	市町村		-	47.5%	100%
適切な生活習慣を有する率	睡眠による休養が不足している者の割合	成人	17.8%	17.8%	16%

4 たばこ

指 標		基準値	現状値	目標値	
項 目	区 分				
成人の喫煙率の減少	男性	39.4%	39.4%	25%以下	
	女性	8.2%	8.2%	5%以下	
喫煙が健康に及ぼす影響について知っている人の割合の増加	肺がん	63.5%	67.3%	100%	
	喘息	41.9%	45.9%	100%	
	気管支炎	44.1%	48.2%	100%	
	心臓病	30.7%	38.7%	100%	
	脳卒中	25.7%	39.1%	100%	
	胃潰瘍	27.8%	30.0%	100%	
	妊娠に関連した異常	72.4%	68.1%	100%	
	歯周病	24.4%	27.6%	100%	
未成年者と妊婦の喫煙率の減少	男子(中学1年)	—	—	0%	
	男子(高校3年)	—	—	0%	
	女子(中学1年)	—	—	0%	
	女子(高校3年)	—	—	0%	
	妊婦	20.0%	10.3%	0%	
公共の場及び職場における禁煙・効果の高い分煙の割合の増加	県庁舎	100.0%*	52.6%*	100%	
	市町村庁舎	49.3%*	27.7%*	100%	
	文化施設(ホール等)	72.6%*	21.8%*	100%	
	教育・保育施設	60.9%*	91.2%*	100%	
	医療施設	66.6%*	70.6%*	100%	
	保健施設	90.0%*	70.5%*	100%	
	体育施設	78.4%*	35.9%*	100%	
	事業所(50人以上)	55.1%*	21.4%*	100%	
	事業所(50人未満)	51.1%*	24.8%*	100%	
	公共交通機関	100.0%	—	100%	
防煙・禁煙(喫煙防止教育)支援プログラムの普及	喫煙防止教育を行っている学校等の割合の増加	小学校	64.1%	67.7%	100%
		中学校	81.4%	89.6%	100%
		高等学校	87.9%	89.5%	100%
		短大・大学・その他の学校	61.9%	57.4%	100%
		幼稚園・保育所等	11.7%	12.9%	100%
		禁煙支援プログラムが提供されている機関の割合の増加	市町村	40.7%	72.3%
	医療機関	34.1%	37.2%	100%	

*基準値とした平成13年度の調査と平成17年度の調査では、調査の質問項目に違いがあるため比較はできません。

5 アルコール

指 標		基準値	現状値	目標値
項 目	区 分			
多量飲酒者の割合の減少 (1日に平均純アルコールで60g(日本酒で約3合)を超えて飲酒する人)	男性	13.2%	7.8%	6.6%以下
	女性	0.7%	0.5%	0.3%以下
未成年者の飲酒割合の減少		—	—	0%
節度ある適度な飲酒について知っている人の割合の増加		46.0%	65.7%	100%

6 歯の健康

指 標		基準値	現状値	目標値
項 目	区 分			
むし歯のない幼児の割合の増加	1歳6ヶ月児	92.64%	95.21%	96%以上
	3歳児	42.80%	55.97%	70%以上
1人当たりのむし歯数の減少	1歳6ヶ月児	0.24歯	0.14歯	0.12歯以下
	3歳児	2.98歯	2.11歯	1.80歯以下
むし歯のない児童生徒の割合の増加	小学生	14.96%	20.7%	30%以上
	中学生	17.24%	31.1%	30%以上
	高校生	10.89%	21.6%	20%以上
1人当たりのむし歯数の減少	12歳児	3.1歯	2.18歯	1.5歯以下
歯肉の経過観察及び治療を要する児童生徒の割合の減少	小中学生の平均	18.31%	19.15%	10%以下
進行した歯周炎を有する人の割合の減少	35～44歳	36.36%	25.00%	25%以下
	45～54歳	45.45%	51.85%	31%以下
	55～64歳	52.78%	54.41%	36%以下

指 標		基準値	現状値	目標値
項 目	区 分			
20歯以上の自分の歯を有する人の割合の増加	75～84歳	18.18%	7.69%	20%以上
24歯以上の自分の歯を有する人の割合の増加	55～64歳	40.30%	52.94%	50%以上
義歯の不適合な人の割合の減少	要介護高齢者	73.0%	—	35%以下
フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児の割合の増加	3歳児	29.0%	34.1%	40%以上
間食として甘味食品を頻回摂取する幼児の割合の減少	1歳6ヶ月児	27.3%	25.8%	20%以下
間食に時間を決めている幼児の割合の増加	1歳6ヶ月児	50.66%	63.2%	70%以上
毎日2回以上歯磨きをする人の割合の増加		57.76%	73.15%	80%以上
歯間部清掃用器具を使用する人の割合の増加	30～39歳	23.9%	25.5%	35%以上
	40～49歳	21.9%	30.4%	40%以上
	50～59歳	20.2%	22.3%	45%以上
定期的に歯科健康診査のために歯科医療機関を受診する人の割合の増加		15.6%	19.0%	30%以上
要介護高齢者の口腔ケアを行う介助者の割合の増加		46.15%	—	65%以上

7 糖尿病

指 標		基準値	現状値	目標値	
項 目	区 分				
成人の肥満者の割合の減少 (BMI及び腹囲を基準)	男性 (①BMI25以上で腹囲85cm以上 ②BMIのみ25以上 ③腹囲のみ85cm以上)	51.0% (①30.7% ② 1.8% ③18.5%)	51.0% (①30.7% ② 1.8% ③18.5%)	40%以下	
	女性 (①BMI25以上で腹囲90cm以上 ②BMIのみ25以上 ③腹囲のみ90cm以上)	29.0% (①14.5% ②10.0% ③ 4.5%)	29.0% (①14.5% ②10.0% ③ 4.5%)	25%以下	
成人の肥満者の割合の減少 (従来のBMI25以上を基準)	男性	37.3%	33.7%	25%以下	
	女性	38.2%	27.1%	20%以下	
日常生活における1日の歩数の増加	男性	7,188歩	7,347歩	8,000歩以上	
	女性	6,655歩	6,774歩	8,000歩以上	
糖尿病にかかわる健診の促進 健診受診者の増加		344,600人	371,241人	517,000人以上	
糖尿病にかかわる健診受診後の事後指導の促進 異常所見者事後指導受診率の増加		54.4%	71.9%	100%	
糖尿病有病者の増加の抑制 糖尿病有病者数		81,000人	—	117,900人以下	
糖尿病患者の治療の継続率の増加		89.7%	—	100%	
糖尿病合併症の減少	糖尿病腎症	19.2%	20.4%	15%以下	
	糖尿病網膜症	24.4%	19.6%	20%以下	
	糖尿病神経障害	21.2%	17.8%	15%以下	
普及啓発による知識浸透率	メボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の概念を知っている人の割合	男性 42.3% 女性 45.1%	42.3% 45.1%	80%	
内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数	肥満者の推定数(小児)	男性	9,700人 (14.9%)	9,700人 (14.9%)	7%
		女性	8,200人 (13.1%)	8,200人 (13.1%)	
	メボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予備群の推定数	男性*	80,000人**	80,000人**	10%減少 (平成20年度比)
		女性*	38,000人**	38,000人**	
糖尿病予備群の推定数	男性*	44,000人	44,000人	10%減少	
	女性*	49,000人	49,000人		
メボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)該当者の推定数	男性*	45,000人**	45,000人**	10%減少 (平成20年度比)	
	女性*	26,000人**	26,000人**		

指 標		基 準 値	現 状 値	目 標 値	
項 目	区 分				
内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数	糖尿病有病者の推定数	男性* 女性*	40,000人 36,000人	40,000人 36,000人	10%減少
	メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）新規該当者の推定数	男性* 女性*	平成20年度及び平成21年度の健診データがそろった時点で把握		平成20年度及び平成21年度の健診データがそろった時点で設定
	糖尿病発症者の推定数	男性* 女性*			
健診・保健指導の実績	特定健診実施率	男性* 女性*	データがそろった時点で把握		68%
	特定保健指導実施率	男性* 女性*			45%
	医療機関受診率	男性* 女性*	55.1% 78.7%	55.1% 78.7%	90%
合併症率	糖尿病による失明発症率（人口10万対）		2.75	2.75	国の目標値設定の動向を踏まえて検討
	糖尿病による人工透析新規導入率（人口10万対）		13.1***	13.1***	10%減少

* 対象年齢は40～74歳です。

** 平成20年度を基準としますので、現状値は参考値として示しています。

*** 糖尿病性腎症による新規導入透析患者数（社）日本透析医学会 統計調査委員会「わが国の慢性透析療法の現況（2006年12月31日現在）」÷青森県人口（平成18年10月総務省推計人口）×100,000

8 循環器病

指 標		基 準 値	現 状 値	目 標 値	
項 目	区 分				
成人の1日の食塩摂取量の減少	成人	12.2g/日	11.6g/日	10g/日未満	
1日のカリウム摂取量の増加	男性	3,000mg/日	2,373mg/日	3,500mg/日以上	
	女性	2,900mg/日	2,194mg/日	3,500mg/日以上	
成人の肥満者の割合の減少（BMI及び腹囲を基準）	男性	51.0%	51.0%	40%以下	
	①BMI25以上で腹囲85cm以上	①30.7%	①30.7%		
	②BMIのみ25以上	②1.8%	②1.8%		
	③腹囲のみ85cm以上	③18.5%	③18.5%		
女性	29.0%	29.0%	25%以下		
①BMI25以上で腹囲90cm以上	①14.5%	①14.5%			
②BMIのみ25以上	②10.0%	②10.0%			
③腹囲のみ90cm以上	③4.5%	③4.5%			
成人の肥満者の割合の減少（従来のBMI25以上を基準）	男性	37.3%	33.7%	25%以下	
	女性	38.2%	27.1%	20%以下	
身体活動や運動による1日の消費エネルギーの増加		120～170 キロカロリー/日	120～170 キロカロリー/日 (2.5～3.7Ex)	200～250 キロカロリー/日程度 (3.6～5.6Ex程度)	
高血圧の改善	平均最大血圧値の低下	129.7mmHg	133.2mmHg	125.5mmHg以下	
	高血圧者の割合の減少	男性	28.7%	47.5%	14%以下
女性		20.7%	34.1%	10%以下	
たばこ対策の充実	たばこ領域参照				
高脂血症の減少 LDL-コレステロール140mg/dl以上の者の割合の減少	男性	30.0%	23.8%	15%以下	
	女性	38.5%	37.0%	20%以下	
糖尿病有病者の増加の抑制 糖尿病有病者数		81,000人	—	117,900人以下	
飲酒対策の充実	アルコール領域参照				
健診受診者の増加		344,600人	371,241人	517,000人以上	
普及啓発による知識浸透率	メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の概念を知っている人の割合	男性	42.3%	42.3%	80%
	女性	45.1%	45.1%		
内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数	肥満者の推定数（小児）	男性	9,700人 (14.9%)	9,700人 (14.9%)	7%
		女性	8,200人 (13.1%)	8,200人 (13.1%)	
	メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）予備群の推定数	男性*	80,000人**	80,000人**	10%減少 (平成20年度比)
		女性*	38,000人**	38,000人**	

指 標			基準値	現状値	目標値	
項 目	区 分					
内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数	糖尿病予備群の推定数	男性*	44,000人	44,000人	10%減少	
		女性*	49,000人	49,000人		
	高血圧症予備群の推定数	男性*	58,000人	58,000人	10%減少	
		女性*	49,000人	49,000人		
	メタリックシフト・ロム（内臓脂肪症候群）該当者の推定数	男性**	45,000人	45,000人	10%減少 （平成20年度比）	
		女性**	26,000人	26,000人		
	糖尿病有病者の推定数	男性*	40,000人	40,000人	10%減少	
		女性*	36,000人	36,000人		
	高血圧症有病者の推定数	男性*	132,000人	132,000人	10%減少	
		女性*	130,000人	130,000人		
	高脂血症有病者の推定数	男性*	41,000人	41,000人	10%減少	
女性*		33,000人	33,000人			
メタリックシフト・ロム（内臓脂肪症候群）新規該当者の推定数	男性*	平成20年度及び平成21年度の健診データがそろった時点で把握	平成20年度及び平成21年度の健診データがそろった時点で設定			
	女性*					
糖尿病発症者の推定数	男性*					
	女性*					
高血圧症発症者の推定数	男性*					
	女性*					
高脂血症発症者の推定数	男性*					
	女性*					
健診・保健指導の実績	特定健診実施率			男性*	データがそろった時点で把握	68%
	特定保健指導実施率			女性*		
	医療機関受診率			男性*		
疾患受療率	脳血管疾患受療率 （人口10万対）	入院	179	179	10%減少	
		外来	189	189		
	虚血性心疾患受療率 （人口10万対）	入院	14	14	10%減少	
		外来	76	76		
死亡率	脳卒中による死亡率 （人口10万対）	男性	84.0	84.0	35%減少	
		女性	45.3	45.3		
	虚血性心疾患による死亡率 （人口10万対）	男性	108.0	108.0	15%減少	
		女性	50.2	50.2		

* 対象年齢は40～74歳です。

** 平成20年度を基準としますので、現状値は参考値として示しています。

9 がん

指 標			基準値	現状値	目標値
項 目	区 分				
たばこ対策の充実	たばこ領域参照				
成人の1日の食塩摂取量の減少	成人		12.2g/日	11.6g/日	10g/日未満
1日の野菜の摂取量の増加	学齢期（7～14歳）		154.3g/日	215g/日	250g/日以上
	青少年期以降		289.3g/日	277g/日	350g/日以上
成人の脂肪エネルギー比率の減少	40歳未満		26.9%	25.8%	25%以下
	40歳以上		22.3%	22.4%	25%以下
飲酒対策の充実	アルコール領域参照				
がん検診の受診率* （カバー率）	胃がん	男性	30.3% (10.3%)	30.3% (10.1%)	50% (30%以上)
		女性	32.4% (15.8%)	32.4% (14.2%)	50% (30%以上)
	大腸がん	男性	25.0% (10.7%)	25.0% (11.0%)	50% (30%以上)
		女性	27.4% (16.4%)	27.4% (16.0%)	50% (30%以上)

指 標		基準値	現状値	目標値	
項 目	区 分				
がん検診の 受診率* (カバー率)	肺がん	男性	23.7% (11.8%)	23.7% (11.2%)	50% (30%以上)
		女性	26.1% (18.6%)	26.1% (16.2%)	50% (30%以上)
	子宮がん	38.3% (12.0%)	38.3% (9.1%)	50% (30%以上)	
	乳がん	26.3% (12.7%)	26.3% (7.9%)	50% (30%以上)	

* 受診率：国民生活基礎調査における各がん検診受診状況から算出しています。

10 各領域共通

指 標		基準値	現状値	目標値	
項 目	区 分				
健康寿命	平均自立期間			研究班による定義・算出 方法の検討の動向を踏ま えて、目標値の設定を検 討	
	65歳、75歳平均自立期間				
	(平均寿命)	男性	76.27年	76.27年	—
		女性	84.80年	84.80年	
	(65歳、75歳平均余命)	男性(65歳)	17.04年	17.04年	—
女性(65歳)		22.77年	22.77年		
男性(75歳)		10.39年	10.39年		
女性(75歳)		14.45年	14.45年		

重点指標一覧

1. 肥満予防対策

領域	指 標		基準値	現状値	目標値	
	項 目	区 分				
栄養・食生活	学齢期おやつの1日のエネルギー摂取の減少		293 キロカロリー/日	324 キロカロリー/日	総摂取エネルギーの10%以内(200キロカロリー/日程度)	
	1日の野菜の摂取量の増加	学齢期(7~14歳)	154.3g/日	215g/日	250g/日以上	
		青少年期以降	289.3g/日	277g/日	350g/日以上	
	成人の脂肪エネルギー比率の減少	40歳未満	26.9%	25.8%	25%以下	
		40歳以上	22.3%	22.4%	25%以下	
身体活動・運動	健康の維持・増進のために運動(身体活動)をする人の割合の増加		男性 41.5%	36.7%	70%以上	
			女性 40.4%	21.7%	70%以上	
歯の健康	むし歯のない幼児の割合の増加		1歳6ヶ月児 92.64%	95.21%	96%以上	
			3歳児 42.80%	55.97%	70%以上	
	20歯以上の自分の歯を有する人の割合の増加		75~84歳 18.18%	7.69%	20%以上	
	24歯以上の自分の歯を有する人の割合の増加		55~64歳 40.30%	52.94%	50%以上	
	間食として甘味食品を頻回摂取する幼児の割合の減少		1歳6ヶ月児 27.3%	25.8%	20%以下	
毎日2回以上歯磨きをする人の割合の増加			57.76%	73.15%	80%以上	
糖尿病・循環器病	成人の肥満者の割合の減少(BMI及び腹囲を基準)		男性 51.0%	51.0%	40%以下	
			①BMI25以上で腹囲85cm以上 ②BMIのみ25以上 ③腹囲のみ85cm以上	①30.7% ②1.8% ③18.5%		①30.7% ②1.8% ③18.5%
			女性 29.0%	29.0%		25%以下
			①BMI25以上で腹囲90cm以上 ②BMIのみ25以上 ③腹囲のみ90cm以上	①14.5% ②10.0% ③4.5%	①14.5% ②10.0% ③4.5%	
			女性 38.2%	27.1%	20%以下	
	成人の肥満者の割合の減少(従来のBMI25以上を基準)		男性 37.3%	33.7%	25%以下	
			女性 38.2%	27.1%	20%以下	
	身体活動や運動による1日の消費エネルギーの増加			120~170 キロカロリー/日	120~170 キロカロリー/日	200~250 キロカロリー/日程度 (3.6~5.6Ex程度)
	健診受診者の増加			344,600人	371,241人	517,000人以上
	内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数	メタリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予備群の推定数	男性* 女性*	80,000人** 38,000人**	80,000人** 38,000人**	10%減少 (平成20年度比)
メタリックシンドローム(内臓脂肪症候群)該当者の推定数		男性* 女性*	45,000人** 26,000人**	45,000人** 26,000人**	10%減少 (平成20年度比)	
健診・保健指導の実績	特定健診実施率	男性* 女性*	データがそろった時点で把握		68%	
	特定保健指導実施率	男性* 女性*			45%	

* 対象年齢は40~74歳です。

** 平成20年度を基準としますので、現状値は参考値として示しています。

2. 喫煙防止対策

領域	指 標		基準値	現状値	目標値	
	項 目	区 分				
たばこ	成人の喫煙率の減少	男性	39.4%	39.4%	25%以下	
		女性	8.2%	8.2%	5%以下	
	未成年者と妊婦の喫煙率の減少	男子(中学1年)	—	—	0%	
		男子(高校3年)	—	—	0%	
		女子(中学1年)	—	—	0%	
		女子(高校3年)	—	—	0%	
		妊婦	20.0%	10.3%	0%	
	公共の場及び職場における禁煙・効果の高い分煙の割合の増加	県庁舎	100.0%*	52.6%*	100%	
		市町村庁舎	49.3%*	27.7%*	100%	
		文化施設(ホール等)	72.6%*	21.8%*	100%	
		教育・保育施設	60.9%*	91.2%*	100%	
		医療施設	66.6%*	70.6%*	100%	
		保健施設	90.0%*	70.5%*	100%	
		体育施設	78.4%*	35.9%*	100%	
		事業所(50人以上)	55.1%*	21.4%*	100%	
		事業所(50人未満)	51.1%*	24.8%*	100%	
		公共交通機関	100.0%	—	—	
	防煙・禁煙(喫煙防止教育)支援プログラムの普及	喫煙防止教育を行っている学校等の割合の増加	小学校	64.1%	67.7%	100%
			中学校	81.4%	89.6%	100%
			高等学校	87.9%	89.5%	100%
短大・大学・その他の学校			61.9%	57.4%	100%	
幼稚園・保育所等			11.7%	12.9%	100%	
禁煙支援プログラムが提供されている機関の割合の増加			市町村	40.7%	72.3%	100%
歯の健康	定期的に歯科健康診査のために歯科医療機関を受診する人の割合の増加	医療機関	34.1%	37.2%	100%	
		15.6%	19.0%	30%以上		
		進行した歯周炎を有する人の割合の減少	35～44歳	36.36%	25.00%	25%以下
			45～54歳	45.45%	51.85%	31%以下
55～64歳	52.78%		54.41%	36%以下		
がん	がん検診の受診率** (カバー率)	胃がん	男性	30.3% (10.3%)	30.3% (10.1%)	50% (30%以上)
			女性	32.4% (15.8%)	32.4% (14.2%)	50% (30%以上)
	大腸がん	男性	25.0% (10.7%)	25.0% (11.0%)	50% (30%以上)	
		女性	27.4% (16.4%)	27.4% (16.0%)	50% (30%以上)	
	肺がん	男性	23.7% (11.8%)	23.7% (11.2%)	50% (30%以上)	
		女性	26.1% (18.6%)	26.1% (16.2%)	50% (30%以上)	
	子宮がん	38.3% (12.0%)	38.3% (9.1%)	50% (30%以上)		
	乳がん	26.3% (12.7%)	26.3% (7.9%)	50% (30%以上)		

* 基準値とした平成13年度の調査と平成17年度の調査では、調査の質問項目に違いがあるため比較はできません。

** 受診率：国民生活基礎調査における各がん検診受診状況から算出しています。

3. 自殺予防対策

領域	指 標		基準値	現状値	目標値
	項 目	区 分			
こころの健康づくり	自殺者数の減少		479人	527人	294人以下
	自殺に関する啓発及び相談等を実施する市町村の割合の増加	市町村	—	47.5%	100%
	抑うつ状態や引きこもり状態にある者への訪問を実施する市町村の割合の増加	市町村	—	77.5%	100%

参 考 资 料

都道府県健康増進計画参酌標準

別紙1

	指標	定義	データソース	目標設定の考え方
日頃の生活習慣	脂質エネルギー比率	国民健康・栄養調査に準じた食物摂取状況調査を実施し、その結果として1日当たりの脂質摂取量を求め、総エネルギーに占める割合を算出する。	都道府県健康・栄養調査	健康日本21の目標(20歳～40歳の1日当たりの平均摂取量25%以下)を参考に、地域の実情に応じて目標を設定する。 目標設定の方法として、平均脂質摂取割合を数値目標にする考え方と、脂質エネルギー比率25%以下の者の割合を数値目標にする方法が考えられる。
	野菜摂取量	国民健康・栄養調査に準じた食物摂取状況調査を実施し、その結果として1日当たりの野菜の摂取量を求める。	都道府県健康・栄養調査	健康日本21の目標(成人の1日当たりの平均摂取量350g以上)を参考に地域の実情に応じて設定する。
	朝食欠食率	国民健康・栄養調査に準じた食物摂取状況調査を実施し、その結果として、調査日の朝食の状況が、「菓子、果物、乳製品、嗜好飲料などの食品のみ食べた場合」、「錠剤・カプセル・顆粒状のビタミン・ミネラル、栄養ドリンク剤のみの場合」、「食事をしなかった場合」の合計を欠食とする。	都道府県健康・栄養調査	健康日本21及び食育推進基本計画の目標(20歳代男性、30歳代男性:15%以下)を参考に地域の実情に応じて設定する。
	日常生活における歩数	歩数計を用いて測定した1日の歩行数。	都道府県健康・栄養調査	健康日本21の目標(成人男性:9,200歩以上、成人女性:8,300歩以上)を参考に地域の実情に応じて設定する。 目標設定の方法として、平均歩数を数値目標にする考え方と、歩数が健康日本21の目標値以上の者の割合を数値目標にする方法が考えられる。
	運動習慣のある者の割合	運動を「週2日以上、1回30分以上、1年以上継続」している者。	都道府県健康・栄養調査	健康日本21の目標(成人男性:39%以上、成人女性35%以上)及びこの目標設定を行った考え方(10%程度の増加を目指す)を参考に、地域の実情に応じて設定する。
	睡眠による休養が不足している者の割合	自記式質問票の「ここ1ヶ月間、あなたは睡眠で休養が充分とれていますか。」という質問に対して、「あまりとれていない」「まったくとれていない」と回答した者。	都道府県健康・栄養調査	健康日本21の目標(取れない人の割合:21%以下)及びその考え方(1割の減少を目指す)を参考に、地域の実情に応じて設定する。
	ストレスを感じた人の割合	自記式質問票の「ここ1ヶ月間に不満、悩み、苦労などによるストレスがありましたか。」という質問に対し、「大いにある」「多少ある」と回答した者。	都道府県健康・栄養調査	健康日本21の目標(ストレスを感じた人の割合:49%以下)及びその考え方(1割の減少を目指す)を参考に、地域の実情に応じて設定する。
	喫煙する者の割合	「これまでに合計100本以上、または6ヶ月以上吸っていて」かつ「この1ヶ月間に、毎日もしくは時々吸っている」者の割合。	都道府県健康・栄養調査	健康日本21の目標(喫煙をやめたい人がやめる)の考え方を参考に、都道府県の実情に応じて設定。
	多量飲酒者の割合	国民健康・栄養調査と同一の方法(自記式質問票)により、1週間における飲酒の頻度と、1日当たりに飲む量を把握し、それらから「1日に純アルコールで約60gを超えて多量に飲酒する者」の割合を求める。 具体的には、以下のいずれかに該当する者を「多量飲酒者」とする。 ①飲酒日1日当たりの飲酒量が5合以上※ ②飲酒日1日当たりの飲酒量が4合以上5合未満で、飲酒の頻度が週5日以上 ③飲酒日1日当たりの飲酒量が3合以上4合未満で、飲酒の頻度が毎日 ※ 平均の飲酒量は明らかではないが、1日の酒量自体に問題があるため定義に加えた。	都道府県健康・栄養調査	健康日本21の目標(男性:3.2%以下、女性:0.2%以下)及びその考え方(2割以上の減少を目指す)を参考に、地域の実情に応じて設定する。
	普及啓発による知識浸透率	自記式質問票により、「内臓脂肪が蓄積することによって、血圧、血糖が高くなったり、血中の脂質異常をおこしたりして、食事や運動などの生活習慣を改善しなければ、心筋梗塞や脳卒中などが起こりやすくなる状態」のこの内容を知っていますか。」という問に対して、「内容を知っている」と回答した者。	都道府県健康・栄養調査	健康日本21及び食育推進基本計画の目標(80%以上)を参考に、地域の実情に応じて設定する。
	肥満者の推定数(成人)(*)	国民健康・栄養調査における方法により身長測定、体重測定を行い、次の3項目に該当する者の割合をそれぞれ求める。 ①BMI25以上で腹囲男性85cm以上、女性90cm以上 ②BMIのみ25以上 ③腹囲のみ基準値以上(男性85cm以上、女性90cm以上)	都道府県健康・栄養調査 健診データ	健康日本21の目標(20～60歳代の男性:15%以下、40～60歳代の女性:20%以下)を参考に、地域の実情に応じて設定する。

	指標	定義	データソース	目標設定の考え方	
境界領域期・有病期	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予備群の推定数(*)	ウエスト周囲径[男性85cm以上、女性90cm以上]かつ、次の3項目のうち1つ該当する者(40~74歳)。 ①中性脂肪150mg/dl以上、または、HDLコレステロール40mg/dl未満、若しくはコレステロールを下げる薬服用※1 ②収縮期血圧130mmHg以上かつ/または 拡張期血圧85mmHg以上、若しくは血圧を下げる薬服用 ③空腹時血糖110mg/dl以上またはHbA1c5.5%以上、若しくはインスリン注射または血糖を下げる薬服用※2	都道府県健康・栄養調査健診データ	健康日本21のメタボリックシンドローム該当者・予備群の減少目標(10%減少)を踏まえ10%削減(H20比)とする。	
	糖尿病予備群の推定数(*)	空腹時血糖110mg/dl以上126mg/dl未満又はHbA1c 5.5以上6.1未満の者。但し、インスリン使用・血糖を下げる薬の服用者を除く(40~74歳)。※2		健康日本21のメタボリックシンドローム該当者・予備群の減少目標(10%減少)を参考に、地域の実情に応じて設定する。	
	高血圧症予備群の推定数(*)	①収縮期血圧が130mmHg以上140mmHg未満かつ拡張期血圧が90mmHg未満である者 ②収縮期血圧が140mmHg未満かつ拡張期血圧が85mmHg以上90mmHg未満である者。ただし、血圧を下げる薬の服用者を除く(40~74歳)。			
	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)該当者の推定数(*)	ウエスト周囲径[男性≥85cm、女性≥90cm]かつ、次の3項目のうち2つ以上に該当する者(40~74歳)。 ①中性脂肪150mg/dl以上、または、HDLコレステロール40mg/dl未満、若しくはコレステロールを下げる薬を服用※1 ②収縮期血圧130mmHg以上かつ/または 拡張期血圧85mmHg以上、若しくは血圧を下げる薬を服用 ③空腹時血糖110mg/dl以上またはHbA1c5.5%以上、若しくはインスリン注射または血糖を下げる薬を服用※2	都道府県健康・栄養調査健診データ	健康日本21のメタボリックシンドローム該当者・予備群の減少目標(10%減少)を踏まえ10%削減(H20比)とする。	
	内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数	糖尿病有病者の推定数(*)	空腹時血糖126mg/dl以上またはHbA1c6.1%以上であるか、インスリン注射または血糖を下げる薬を服用している者(40~74歳)。		
	高血圧症有病者の推定数(*)	収縮期血圧が140mmHg以上、または拡張期血圧90mmHg以上の者、若しくは血圧を下げる薬服用者(40~74歳)。			健康日本21のメタボリックシンドローム該当者・予備群の減少目標(10%減少)を参考に、地域の実情に応じて設定する。
	高脂血症有病者の推定数(*)	中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロールが40mg/dl未満、または、LDL140mg/dl以上、若しくはコレステロールを下げる薬を服用している者(40~74歳)。※3			
	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)新規該当者の推定数(*)	ウエスト周囲径[男性≥85cm、女性≥90cm]かつ、次の3項目のうち2つ以上に該当する者で、かつ前年までの健診結果等でメタボリックシンドロームに該当していない者(40~74歳)。 ①中性脂肪150mg/dl以上、または、HDLコレステロール40mg/dl未満、若しくはコレステロールを下げる薬を服用※1 ②収縮期血圧130mmHg以上かつ/または 拡張期血圧85mmHg以上、若しくは血圧を下げる薬を服用。 ③空腹時血糖110mg/dl以上またはHbA1c5.5%以上、若しくはインスリン注射または血糖を下げる薬を服用している者※2			
	糖尿病発症者の推定数(*)	空腹時血糖126mg/dl以上、またはHbA1c6.1%以上であるか、インスリン注射または血糖を下げる薬を服用している者で、かつ前年までの健診結果等で糖尿病と診断されない者(40~74歳)。※2	都道府県健康・栄養調査健診データ	健診データの収集により、該当者の推定数が把握できるようになった時点で、メタボリックシンドロームの該当者・予備群の減少目標(10%減少)を参考に、地域の実情に応じて設定する。	
	高血圧症発症者の推定数(*)	収縮期血圧が140mmHg以上、または拡張期血圧90mmHg以上の者、若しくは血圧を下げる薬服用者で、かつ前年までの健診結果等で高血圧症と診断されない者(40~74歳)。			

	指標	定義	データソース	目標設定の考え方	
健診・保健指導の実績	高脂血症発症者の推定数(*)	中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロールが40mg/dl未満、または、LDLコレステロール140mg/dl以上、若しくは、コレステロールを下げる薬服用者で、かつ前年までの健診結果等で高脂血症と診断されない者(40~74歳)。※3			
	健診実施率	過去1年間に、特定健康診査を受診した者の割合(40~74歳)。平成19年度における計画策定にあたっては、都道府県健康・栄養調査等において、過去1年間に、健診(健康診断や健康診査)を受診した者の割合を求め、平成20年度以降は健診データにより、特定健康診査受診者の割合を求め、	都道府県健康・栄養調査健診データ	健康日本21の目標を踏まえ70%とする。	
	保健指導実施率	特定健康診査において、保健指導(動機づけ支援又は積極的支援)の対象となった者のうち、特定保健指導を受けた者の割合。平成19年度における計画策定にあたっては、都道府県健康・栄養調査等において、過去1年間に健診を受けた者で、肥満、高血圧、高血糖、脂質異常に関する指摘を受けたことについて、保健指導(食事や生活習慣の改善の指導)を受けた者の割合を求め、平成20年度以降は健診データにより、健診受診者で要保健指導者のうち保健指導の受診者及び終了者の割合を求め※4。動機づけ支援と積極的支援を別々に算出。	都道府県健康・栄養調査健診データ	健康日本21の目標を踏まえ45%とする。	
	医療機関受診率	特定健康診査において要医療と判定された者のうち、医療機関を受診した者の割合。都道府県健康栄養調査の自記式質問票(健診後、医療機関を受診するように勧められた者であって、「その後、医療機関に行きましたか。J)において、「はい」と回答した者の割合。平成20年度以降は医療保険者が健診データとレセプトを突き合わせるにより把握することも可能となる。	都道府県健康・栄養調査レセプト	受診率100%を最終目標に、地域の実情に応じて設定する。	
重症化・合併症	疾患受療率	脳血管疾患受療率(*)	脳血管疾患により医療機関を受診している者の割合。	患者調査	健康日本21のメタボリックシンドローム該当者・予備群の減少目標(10%減少)、健康フロンティア戦略の目標(脳卒中・心疾患の死亡率を25%減少させる)を参考に、地域の実情に応じて設定する。
		虚血性心疾患受療率(*)	虚血性心疾患により医療機関を受診している者の割合。	患者調査	
	合併症率	糖尿病による失明発症率	糖尿病網膜症による新規に視覚障害者となる者の割合。福祉行政報告例における糖尿病網膜症により身体障害者手帳を交付される者の割合(平成18年度より報告様式が改正され、把握できるようになる予定)。	社会福祉行政業務報告	平成19年度以降に、現状値を把握して国の目標を設定する。※5
		糖尿病による透析新規導入率	糖尿病腎症により新規に透析を導入される患者の割合。わが国の慢性透析療法の現況における糖尿病性腎症による導入患者数(日本透析医学会)の都道府県別の導入患者数を人口で割ったもの。	日本透析医学会	健康日本21における目標設定の考え方(生活習慣の介入により約36%減少)を参考に、地域の実情に応じて設定する。
死亡	死亡率	脳卒中による死亡率(*)	人口動態統計により把握される、脳卒中により死亡する者の率。	人口動態統計	健康フロンティア戦略の目標(脳卒中の死亡率を25%減少させる)を参考に、地域の実情に応じて設定する。
		虚血性心疾患による死亡率(*)	人口動態統計により把握される、虚血性心疾患により死亡する者の率。	人口動態統計	健康フロンティア戦略(心疾患の死亡率を25%減少させる)を参考に、地域の実情に応じて設定する。
	健康寿命	平均自立期間	研究班にてその定義・算出方法を検討	都道府県生命表(5年ごと)レセプト	研究班で検討した定義・算出方法を下に、平成19年度以降に現状値を把握し、目標を設定する。※6
		65歳、75歳平均自立期間		都道府県生命表(5年ごと)レセプト	
		(平均寿命)		—	
(65歳、75歳平均余命)	—	都道府県生命表(5年ごと)	平均自立期間の目標設定を行う上での参考値。		
がん	がん検診受診者数	がん検診を受診する者の数。	国民生活基礎調査(3年ごと)	がん対策推進基本計画と調和。都道府県がん対策推進計画において、がん検診受診率の目標値を定める場合は、健康増進計画においても当該率についても定めることとする。	

指標		定義	データソース	目標設定の考え方
こころの健康	自殺者数	人口動態統計により把握される自殺者の数。	人口動態統計	健康日本21の目標を参考に地域の実情に応じて設定。
	8020の人数	歯科疾患実態調査、健康栄養調査等により把握される80歳で20歯以上及び60歳で24歯を有する者の数。	都道府県歯科疾患実態調査 都道府県健康栄養調査	健康日本21の目標(75～84歳で20%以上、55～64歳で24歯以上)を参考に地域の実情に応じて設定する。
	進行した歯周炎を有する人の割合	歯科疾患実態調査、健康栄養調査等により把握される40歳、50歳において進行した歯周炎を有する者の割合。	都道府県歯科疾患実態調査 都道府県健康栄養調査	健康日本21の目標(40歳:22%以下、50歳:33%以下)及びその考え方(3割の減少を目指す)を参考に、地域の実情に応じて設定する。

※1:都道府県健康・栄養調査など、空腹時における採血が徹底できていない場合には、中性脂肪を用いない。

※2:空腹時血糖とHbA1cの両者を測定している場合には、空腹時血糖を用いる。

※3:LDLコレステロールを測定していない場合には、総コレステロールを用いて推計する。

※4:特定保健指導の受診者とは、初回面接を受診した者をいう。また、特定保健指導の終了者とは、6ヶ月評価まで終了した者をいう。

※5:国の目標が設定され次第、可能な限り速やかに目標値を設定することとする。

※6:研究班の検討結果が公表され次第、可能な限り速やかに目標値を設定することとする。

(*)の指標の目標値設定、評価に際しては、性・年齢調整を行うことが必要。



取り組んでいます! 健康づくり
健康あおり推進隊

**健康あおり21（追補版）
～医療制度改革に伴う改定～**

平成20年3月発行

青森県健康福祉部保健衛生課

〒030-8570

青森県青森市長島一丁目1番1号

電話017-734-9283

<健康あおり21ホームページアドレス> <http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/aomori21/>